

1月のまちの話題を写真で紹介します! /

TOYOKAWA TIMES

1
2016



トヨカワタイムス ● まちの話題



動く広報 発信中

アプリをインストールして写真にスマホをかざしてください。

紙面に掲載されている映写機マークがある写真にスマホをかざすと動画が始まります。体験するには無料アプリ「Aurasma」が必要です。導入方法などは市ホームページをご覧ください。

豊川市 動く広報 検索



8日 1年の邪気払いを願う弓始祭

砥鹿神社で新春恒例の神事、弓始祭が行われました。この神事は、「鬼」と書かれた的に、真榊で作られた黒木の弓で矢を放ち、新年の邪気退散を祈願するものです。

静寂のなか、二人の射手が20先^の的をめぐらして、交互に2本ずつ矢を放ちました。「ぱしっ」と音を立てて矢が的に命中すると、見物客からは歓声が上がりました。

10日 新成人祝賀会で二十歳の誓い

総合体育館で新成人祝賀会が開催され、1,615人の新成人が、華やかな振り袖や羽織はかま姿で式典に参列しました。

式典では、新成人の代表が「感謝の気持ちを忘れず、無限の可能性を信じて、夢と希望に向かって進みたい」と誓いの言葉を述べました。



3日

砥鹿神社で田遊祭 五穀豊穡を願って農作業を実演

砥鹿神社で、新年の五穀豊穡^{ごこくほうじょう}を願って田遊祭が行われました。

多くの初詣客が見守る中、農夫^{ふん}に扮した氏子たちが、境内の約5畝^の四方に敷き詰めた榊の葉を田んぼに見立てて、田打ちから稲の収穫までを面白おかしく演じました。





3日 豊作を願ってお田植えまつり
白牛が「モ～しんどい」と笑いを誘う

財賀町の財賀寺で、五穀豊穰ごこくほうじょうと子孫繁栄を願うお田植えまつりが行われ、農夫や奉行ぶんぎんに扮した地元住民が、太鼓を田に、スギの葉を苗に見立てて、稲作の過程を演じました。

代かきの場面では、白牛に扮した男性が本堂の中を動き回り、観客の笑いを誘っていました。



CITIZENSREPORT 

みんなの
写真館

今月の記者
近藤 正吉さん (牛久保町)
「半世紀ぶりの山車引き回し」

牛久保の若葉祭で使われる山車の修復が完了し、31日に入魂式が行われました。式後には、子どもたちによる山車の引き回しや餅投げが行われ、祭礼関係者や地元住民らがお祝いをしました。

※現在、「みんなの写真館」では、平成28年3月に撮影した写真を募集しています。

